

「日本の会社史」 マイクロ版



企画・出版：丸善株式会社

編集代表者：由井常彦（明治大学教授）

伊牟田敏充（法政大学教授）

出版仕様：16ミリマイクロフィルム シルバーハライド

440リール セット価格 **¥8,800,000**
(税別)

社史を乱読したころ

東洋英和女学院大学教授

中村 隆英

昭和30年代には、古書店に行けば、まだ社史や実業家の伝記類が安く買えた。私が明治以後の日本の経済史や産業史に興味を感じるようになったのは、こうして買った本を手あたり次第に乱読してからである。

日本経済史や産業史の書物は、ほとんどが特定の史観にもとづいて整然と叙述されている。ところが、社史や伝記には、生き生きとした人間の顔がのぞき、企業や産業が成立発展するいきさつが具体的に書かれている。たとえば、古い『日立製作所史』には、第一次世界大戦に当って、電気機械の輸入が途絶し、小平社長を先頭に国産化に取り組んだときの苦勞が面白く述べられている。大戦をきっかけに重工業が芽生えた、という歴史の骨格に肉付けをするには、社史が欠かせないのである。

ところが、社史類を読むうちに、私は型にはまった教科書の記述に疑問を感じるようになり、いつの間にか自分だけの仮説をつくりはじめるようになっていった。現在の私の考え方を育てたのは、この時代に乱読した社史類の影響だったといっても過言ではない。

今回、2,000点余の入手困難な社史が、マイクロフィルムに収められ、自由に利用できるようになるという。研究者にとってこれほどの朗報はめったにない。私も暇を見てもう一度乱読の楽しみを味わいたいものだ。そうすれば、また何か大胆なアイデアが湧いて来るかもしれない。

経営を学ぶ格好のテキスト「社史」

大阪大学教授

宮本 又郎

社史刊行の盛んな点において、日本は世界一であるという。社史を刊行するほど長く続いた企業の歴史や経験は、経営を学ぶ上で情報、資料の宝庫である。それぞれの企業がどのように発展し、どのように苦境をくぐり抜けてきたのか、そのためにはどのような知恵が出され、戦略が採られたのか、社史をじっくり読めば、こうしたことについて必ず知識が得られるはずである。将棋や囲碁の棋士にとって過去の棋譜が最も重要な教材であるように、社史は経営を学ぶ格好のテキストなのである。アメリカのハーバード・ビジネス・スクールはこのケース・スタディの効果を早くから認識し、世界の企業について数万冊のケース・ブックを作成し、これを教材に用いて高い教育成果を挙げている。日本にはこの種のデータベースはないが、代わりに膨大な社史の蓄積がある。おまけに、近年の社史は一時代前の単なる会社の宣伝物の域を超えて、学術的にも随分レベルが上がってきた。これを利用しない手はない。しかるに、社史は読まれない豪華本の見本のようにもいわれる。残念なことである。この一因は、社史が非売品で限定出版されることが多く、真の読者の手に渡っていないからであろう。企業やその関係者の応接間で社史が眠っている一方で、それを本当に読みたいと思っている人は、あちこちの図書館を訪ね、古本屋で探している。今回のマイクロ版「日本の会社史」の刊行は、このような社史市場における需給のミスマッチを解消する上で、大きな効果をもたらさだろう。由井常彦教授ほか専門研究者によって選り抜かれた社史が対象となっているだけに、その効果は大きい。各企業は、社史を刊行するのに相当の人手を割き、資金を投じている。経営情報の公開という公共財的役割を社史は立派に果たしているのである。真の読み手に活用されることによって、社史は対費用効果を高め、この公共的性格をいっそう認められることになるだろう。この企画に賛同された各企業の英断に拍手を送りたい。

日本の産業史・経営史研究に必須のマイクロ版集成

日本の会社史・マイクロ版

東証一部の上場企業ならびにそれに準ずる大手企業を中心に、日本の主力・中堅企業約1,000社が刊行する「会社史」約2,000点を収録するマイクロフィルム版コレクション。斯界研究の泰斗 由井常彦・伊牟田敏充両教授を編集代表者とする総勢9名の研究者が編集委員会を構成し、アカデミックな視点から企業と会社史の選別を行っています。従来のマイクロ企画が、概ね1〜2機関に所蔵される貴重コレクションのマイクロ変換であったのに比し、本企画が対象とする社史については集中的な所蔵機関もなく、収録予定の原本についての所蔵状況は国内数十機関に分散、本企画の実現・完成が強く研究者の方々から期待される所以ともなっています。明治以来のわが国の産業・経営の歴史的経過を辿る上での必須の文献として、大学図書館・資料室でのお備えを広くお薦め申し上げます。

グループ I	：農林水産・食品製造・繊維工業・紙パルプ・窯業		
	55リール	定価 ¥1,100,000 (税別)	
	・農林水産 1リール	・食品製造 10リール	・繊維工業 22リール
	・紙パルプ 9リール	・窯業 13リール	
II	：建設設備・化学工業・石油製品・ゴム製品・皮革製造		
	60リール	定価 ¥1,200,000 (税別)	
	・建設設備 19リール	・化学工業 33リール	・石油製品 4リール
	・ゴム製品 3リール	・皮革製造 1リール	
III	：金属製品・造船・鉄鋼		
	35リール	定価 ¥700,000 (税別)	
	・金属製品 3リール	・造船 8リール	・鉄鋼 24リール
IV	：一般機械・電気機械・自動車等・精密機械		
	65リール	定価 ¥1,300,000 (税別)	
	・一般機械 17リール	・電気機械 26リール	・自動車等 17リール
	・精密機械 5リール		
V	：電力・ガス・鉱業・非鉄金属		
	32リール	定価 ¥640,000 (税別)	
	・電力 19リール	・ガス 5リール	・鉱業 2リール
	・非鉄金属 6リール		
VI	：鉄道・海運・陸運・航空・倉庫		
	30リール	定価 ¥600,000 (税別)	
	・鉄道 12リール	・海運 7リール	・陸運 6リール
	・航空 3リール	・倉庫 2リール	
VII	：他製造・商業・不動産		
	41リール	定価 ¥820,000 (税別)	
	・他製造 4リール	・商業 (含むサービス) 33リール	
	・不動産 4リール		
VIII	：金融・証券		
	97リール	定価 ¥1,940,000 (税別)	
	・長信為替 7リール	・都市銀行 24リール	・地方銀行 41リール
	・信託銀行 6リール	・その他金融 2リール	・II地方銀 8リール
	・証券 9リール		
IX	：生保・損保		
	25リール	定価 ¥500,000 (税別)	
	・生保 18リール	・損保 7リール	



丸善株式会社【学術情報ソリューション事業部 企画開発センター】

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル 7F

TEL 03-6367-6078 FAX 03-6367-6184 <http://www.maruzen.co.jp/>

営業部・支店・営業所=横浜・八王子・大宮・筑波/札幌・盛岡・仙台・名古屋・岐阜・金沢・京都・大阪・神戸・岡山・松山・広島・福岡・長崎・熊本・沖縄/ニュージャージー